

フランス株式ファンド　月次レポート

追加型投信／海外／株式

販売用資料

商品概要

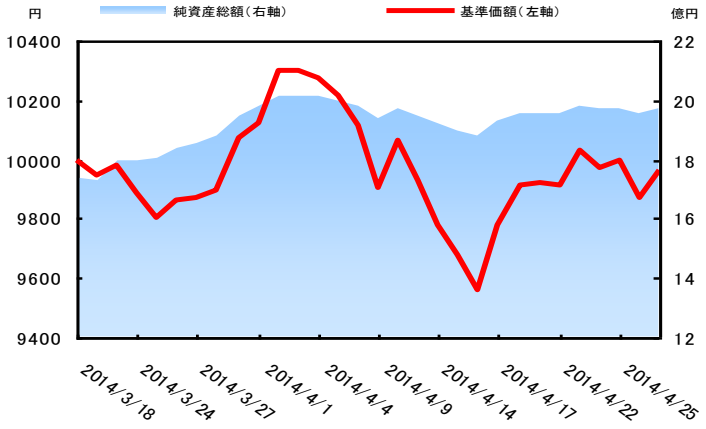
商品分類	追加型投信／海外／株式
投資対象	フランスの企業の株式等を主要投資対象とします。
設定日	平成26年3月18日
信託期間	平成26年3月18日から平成36年3月15日まで
決算日	年2回（原則として毎年3月15日、9月15日。休業日の場合は翌営業日）

投資態度

- 主として、フランスの金融商品取引所に上場している企業または同国において主な事業を展開する企業の株式、預託証券、優先株式ならびに株価に連動する効果を有する有価証券、不動産投資信託証券等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。
- 銘柄選定にあたっては、事業内容、成長性、収益性、財務健全性などを勘案して厳選します。また、業種配分、バリュエーション、流動性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。
- 株式の組入比率は、原則として高位とします。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんが、機動的に市場変動に対応することがあります。
- 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

基準価額の推移

（2014/3/18～2014/4/30）



ファンドの現況

基準価額	9,959円
前月末比	−112円
純資産総額	1,969百万円
前月末比	+18百万円

（2014年4月30日現在）

分配実績

	該当ありません
分配金合計額	該当ありません

投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われるとその金額相当分、基準価額は下がります。

期間収益率

期間	収益率
1か月	−1.11%
6か月	未到来
1年	未到来
設定来	−0.41%

当資料はカレラアセットマネジメント株式会社が各種データに基づいて作成したものですが、その情報の確実性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

カレラアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）2636号
加入協会　：　一般社団法人投資信託協会



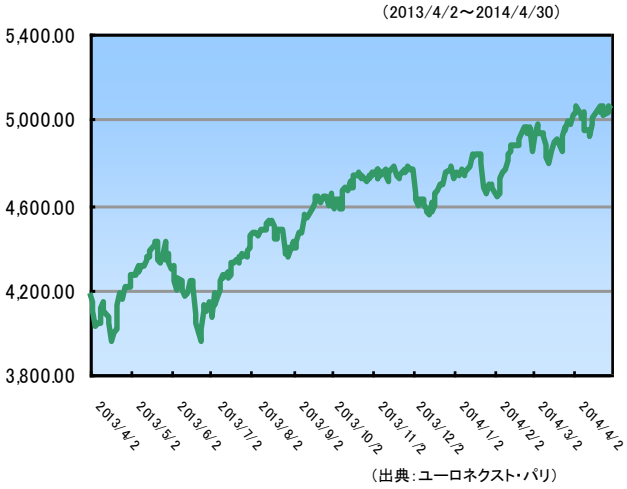
フランス株式ファンド　月次レポート

販売用資料

追加型投信／海外／株式

フランス株式市場と為替市場の推移

フランスCAC全株指数



（出典：ユーロネクスト・パリ）

ユーロ（対円）の推移

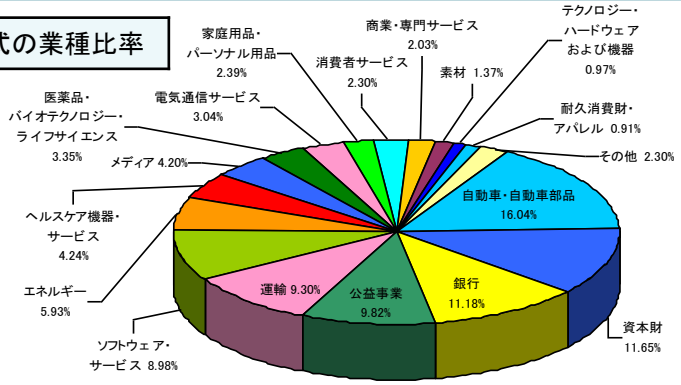


（三菱東京UFJ銀行データをもとに作成）

フランス株式ファンドの運用状況

資産別組入れ状況	
組入れ対象	投資比率
株　式	97.70%
債　券	0%
現金・その他	2.30%
合　計	100.0%

株式の業種比率



組入上位5銘柄			
企　業　名	業　種	企　業　内　容	組入比率
TOTAL　SA	エネルギー	石油と天然ガスの探査、生産、精製、輸送、販売会社。ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリスチレン、ゴム、塗料、インク、接着剤、樹脂などを製造する化学品部門も経営。欧州、米国、アフリカでガソリンスタンドを経営する。	6%
EDF	公益事業	電力会社。フランスで発電、送電、配電、電力輸出入を手掛ける。原子力、石炭、ガスを燃料とし、フランスの消費者に電力を提供する。	5%
MONTUPET	自動車・自動車部品	自動車部品メーカー。大手向けに、シリンダーヘッド、ハンドル、温度制御機器、プロトタイプなどの自動車部品を製造。フランス、ベルギー、スペイン、米国、メキシコなどに展開。	4%
VINCI	資本財	国際的な建設会社。建築・土木・水力・電気エンジニアリング、道路建設資材の製造のほか空港など公共インフラの資金調達・管理・運営・保守を手掛ける。	4%
SOCIETE　GENERALE	銀行	銀行。預金業務のほか、投資銀行業務、プライベートバンキング、法人・個人向けなどの金融サービスを提供する。	4%

当資料はカレラアセットマネジメント株式会社が各種データに基づいて作成したものですが、その情報の確実性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

カレラアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）2636号
加入協会　：　一般社団法人投資信託協会



フランス株式ファンド　月次レポート

販売用資料

追加型投信／海外／株式

マンスリーコメント

フランス経済・株式市場の動向

4月の世界経済・金融市場では、ウクライナを巡り国際的に不安定な情勢が継続しましたが、各国の株式市場への影響は限定的でした。日本では、日銀の黒田総裁が、雇用の改善や消費者物価の安定的な上昇基調をうけ、現時点では追加の金融緩和は考えていないと発言しました。債券市場では主要先進国の債券が買われ、利回りは低下しました。商品市場では農産物や産業用金属が上昇しました。為替市場では、ウクライナ情勢が緊迫する場面では、円やスイス・フランなどの安全通貨にリスク回避の買いが入りました。

米国では量的緩和縮小が継続しました。低金利政策の長期化観測から株式市場は月末にかけて上昇傾向となりました。第1四半期のGDP成長率は、大寒波の影響やこれまでの高成長の反動で0.1%と大幅に鈍化しました。

欧州では、ギリシャが金融支援後初の国債発行で大きな需要を集め、成功を収めました。南欧の低格付けの国債に買いが波及し、イタリア、スペインの10年債利回りが、過去最低やそれと同水準まで低下しました。

中国では、第1四半期のGDP成長率は前年同期比＋7.4%と、前期より鈍化したものの予想を上回りました。堅調な個人消費と対照的に、輸出の鈍化や、政府による不動産への過剰投資抑制策をうけて投資が軟調となりました。

フランスでは、統一地方選における与党の惨敗を受け、エロー首相が辞任し、新首相にバルス氏が任命されました。3月のコンポジットPMIが51.8、4月が50.5となり、2ヵ月連続で50を超え民間の生産活動は拡大しましたが、ペースはやや減速しました。また、2月の鉱工業生産は前年比で-0.8%と鈍化しました。

4月のフランスの株式市場は、月央にかけ軟化しましたが、エネルギーや生活必需品セクターが上昇し、前月末比1.5%の上昇で引けました。為替市場では、ユーロは対円で141円台後半と、前月とほぼ変わらぬ水準となりました。

運用概況

2014年3月18日に、約17億円の設定額で運用をスタートしました。

運用開始以後、速やかに円資金をユーロに投資し、株式市場の流動性や個別銘柄へのマーケット・インパクトを考慮しながら、段階的に株式をポートフォリオに組入れました。その結果、4月末時点での株式の組入比率は97.7%となりました。

業種別の組入比率では、自動車・自動車部品（組入比率16%）、資本財（11.7%）、銀行（11.2%）の3業種が上位となりました。

個別銘柄では、石油メジャーのTOTAL SA、電力会社のEDF、自動車部品メーカーのMONTUPETの3銘柄が高い組入比率となりました。

4月末の基準価額は9,959円で、前月末比112円の低下となりました。フランス株式の価格下落が、基準価額の低下要因となりました。

今後の投資方針

米国では、個人消費や信頼感などの経済指標の回復が見られます。寒波の影響を受け低迷した四半期を通過し、今後は、軟調だった住宅関連や雇用の緩やかな回復が期待されます。FRB（連邦準備制度理事会）は景気や雇用、インフレ動向を見ながら引き続き資産購入額を縮小していくものと思われます。堅調な企業業績に支えられ、世界経済の緩やかな回復は継続すると見込まれ、リスク資産投資に相対的に優位な局面が続くと考えます。

欧州では、南欧諸国の債務処理問題が重石となるものの、債務危機の発端であったギリシャが金融市場へ復帰するなど安定化の兆しが見られ、スペイン、イタリアなどの景気も持ち直しの兆しが顕在化しています。企業や家計の債務圧縮が緩やかに進み、財務状況の健全化に向かい始めています。ECB(欧州中央銀行)は、フォワードガイダンスを維持し、インフレ動向やマクロ経済動向を確認しながら、政策金利を過去最低の現行水準もしくはそれ以下に維持する方針を続けると予想します。

中国では、一部の経済指標に鈍化が見られるため、小規模な景気下支え策がとられています。大規模な景気対策は避け、中長期的な経済政策の改革によって年率7%台前半程度の安定的な成長を達成すると期待されています。

フランスでは、緩やかな経済の持ち直しが見られる欧州諸国に対し、比較的出遅れ感が意識されていますが、直近では製造業、サービス業指数ともに底打ちの兆しも見られます。また、輸出競争力低下要因となっている労働市場の硬直化を改善するための対策が打ち出されており、これらが進捗することにより、景気にも徐々に持ち直しの動きが現れると考えます。

投資方針として、事業内容、成長性、収益性、財務健全性などを勘案して銘柄を選定し、業種配分、バリュエーション、流動性などを考慮しながら、ポートフォリオを構築する方針です。

当資料はカレラアセットマネジメント株式会社が各種データに基づいて作成したものですが、その情報の確実性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

カレラアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）2636号
加入協会　：　一般社団法人投資信託協会



フランス株式ファンド　月次レポート

販売用資料

追加型投信／海外／株式

投資リスク

当ファンドは、フランスの金融商品取引所に上場している企業または同国において主な事業を展開する企業の株式、預託証券、優先株式ならびに株価に連動する効果を有する有価証券、不動産投資信託証券など値動きのある有価証券に投資します（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被ることがあります。当ファンドに生じた利益および損失は、すべて投資家の皆様に帰属することになります。投資信託は預貯金と異なります。
当ファンドの基準価額は、主に以下のリスク要因により、変動することが想定されます。

● 株式の価格変動リスク

当ファンドは、主に海外の株式に投資しますので、当ファンドの基準価額は、株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

● 為替変動リスク

当ファンドは、主に外貨建ての株式に投資します（ただし、これに限定されるものではありません）。投資している通貨が円に対して強く（円安に）なればファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く（円高に）なればファンドの基準価額の下落要因となります。したがって、投資している通貨が対円で下落した場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

● カントリーリスク

当ファンドは、フランスの企業の株式等を主要投資対象とします。海外の株式に投資する場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資対象国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制等の要因により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

● 信用リスク

株式を発行する企業が、経営不安・倒産等に陥った場合、投資した資金が回収できなくなることがあります。また、こうした状況に陥ると予想された場合、当該企業の株式等の価格は下落し、当ファンドの基準価額が下がる要因となる可能性があります。

● 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に株式を売買できないことがあります。このような場合には、効率的な運用が妨げられ、当該株式の価格の下落により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

● 解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動リスク

解約によるファンドの資金流出に伴い、保有有価証券等を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や市場の流動性等の状況によって、保有有価証券を市場実勢と乖離した価格で売却せざるをえないこともあり、基準価額が大きく下落することがあります。

● 資金移動に係るリスク

当ファンドの主要投資対象国であるフランス政府当局が資金移動の規制政策等を導入した場合、一部解約、償還等の支払資金の国内への回金が滞ることがあります。

● 予測不可能な事態が起きた場合等について

その他予測不可能な事態（天変地異、クーデター等）が起きた場合等、市場が混乱することがあり、一時的に当ファンドの受益権が換金できないこともあります。また、これらの事情や有価証券の売買にかかる代金の受渡しに関する障害が起きた場合等には、当ファンドの受益権の換金代金の支払いが遅延することや、一時的に当ファンドの運用方針に基づいた運用ができなくなるリスクがあります。

＊その他の留意点

当ファンドは、受益権口数が3億口を下回ることとなった場合等には、信託期間中であっても償還されることがあります。

当ファンドのリスクは上記に限定されるものではありません

当資料はカレラアセットマネジメント株式会社が各種データに基づいて作成したものですが、その情報の確実性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

カレラアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）2636号
加入協会　：　一般社団法人投資信託協会



フランス株式ファンド　月次レポート

販売用資料

追加型投信／海外／株式

お申込みメモ

信託設定日	平成26年3月18日
信託期間	平成36年3月15日まで
購入の申込期間	当初申込期間：平成26年3月3日から平成26年3月17日まで 継続申込期間：平成26年3月18日から平成27年6月15日まで ただし、継続申込期間は、上記の期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。
購入価額	当初申込期間：1口当たり1円 継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入単位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位とします。
申込不可日	販売会社の営業日であっても、申込日当日が、パリの銀行またはフランスの証券取引所の休業日に該当する場合には、お申込みができません。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。
換金単位	1口単位
換金価額	換金価額は、換金申込受付日の翌営業日の基準価額から0．3%（信託財産留保額）を控除した価額となります。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
決算日	年2回（原則として毎年3月15日、9月15日。ただし、休業日の場合は翌営業日。） ＊初回の決算日は平成26年9月16日とします。
収益分配	毎決算時に、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。 ただし、必ず分配を行うものではありません。

＊公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です
＊当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません

お客様にご負担いただく費用

- 購入時に直接ご負担いただく費用

  購入時手数料 ： 原則として、申込受付日の翌営業日の基準価額（当初申込期間は1口当たり1円）に対して**上限3．24%（税抜3．0%）**とします。

- 換金時に直接ご負担いただく費用

  換金時手数料 ： かかりません。
  信託財産留保額 ： 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0．3%**を乗じて得た額とします。

- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

  運用管理費用（信託報酬） ： 信託財産の純資産総額に年**1．6308%（税抜1．51%）**を乗じて得た額とします。

  その他費用 ： ファンドの監査費用、目論見書、有価証券届出書、有価証券報告書、運用報告書など法定書類等の作成、印刷および交付または提出費用、公告費用等の管理、運営にかかる費用、有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、信託財産に関する租税、証券投資信託管理事務委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用等（その他費用については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。）

＊手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
＊詳しくは、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

当資料はカレラアセットマネジメント株式会社が各種データに基づいて作成したものですが、その情報の確実性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

カレラアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）2636号
加入協会 ： 一般社団法人投資信託協会



フランス株式ファンド　月次レポート

追加型投信／海外／株式

委託会社その他関係法人の概要

- 委託会社　**カレラアセットマネジメント株式会社**
  金融商品取引業者　関東財務局長（金商）2636号
  加入協会　：　一般社団法人投資信託協会

  【当ファンドの委託会社として、受益権の募集、受益権の発行、信託財産の運用指図、投資信託説明書（交付目論見書）・運用報告書の作成等を行います。】

- 受託会社　**三菱UFJ信託銀行株式会社**

  【当ファンドの受託会社として、信託財産の保管・管理・計算等を行います。】

- 販売会社　**安藤証券株式会社**
  金融商品取引業者　東海財務局長（金商）第1号
  加入協会　：　日本証券業協会

  株式会社SBI証券
  金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第44号
  加入協会　：　日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

  【当ファンドの販売会社として、受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）・運用報告書の交付、一部解約の実行請求の受付ならびに収益分配金・償還金および一部解約金の支払いの取扱い等を行います。】

ご留意事項

- 当資料は、カレラアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。
- 投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。
- 投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。
- 投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。
- 登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ご購入に際しては、販売会社より最新の投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

当資料はカレラアセットマネジメント株式会社が各種データに基づいて作成したものですが、その情報の確実性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

カレラアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）2636号
加入協会　：　一般社団法人投資信託協会